雇用助成金活用による
研修コース
（中小ITベンダ企業様向け）

ITと経営の融合、ユーザ企業のIT力を強くし、ベンダ企業のプロセスをアジャイルに進化させます

新保IT経営研究所

一般企業向け研修シリーズ

コース名	グループ演習形式　管理職研修
目的	管理職のマネジメントをどのように考え、行うためのマネジメントの基本について学びます。
対象者	新任の管理職、もしくは、次期管理職候補
研修日数	４日間（1 日６時間）
定員	20 名（最低開催人数６名）
講師	新保　康夫（新保ＩＴ経営研究所　所長、ＩＴコーディネータ）
価格	研修費　180,000 円 教材費　4,000 円／人（4,000 円×受講人数分必要となります。）

カリキュラム

【第１日目】≪座学≫
- マネジメント入門
- 部下の業績管理
- 人材マネジメント
- プロジェクトマネジメント
- 戦略思考
- リーダーシップ

【第２日目】≪グループ演習≫
- プロジェクトマネジメント

【第３日目】
- ≪座学≫情報セキュリティマネジメント
- ≪グループ演習≫情報セキュリティ　リスクの発見とリスク対策

【第４日目】
- ≪座学≫Excel・Powerpoint を活用した管理資料作成とプレゼンテーション資料作成
- ≪グループ演習≫Excel・Powerpoint でプレゼンテーション資料作成

テキスト

【マネジメント】
アメリカの「管理職の基本」を学ぶマネジメントの教科書―成果を生み出す人間関係のスキル
（ダイヤモンド社）
【情報セキュリティ】
情報セキュリティ読本　五訂版
（独立行政法人情報処理推進機構）
【その他】
演習教材等は、オリジナル教材を使用

備考

研修会場、プロジェクタ、スクリーンはご用意下さい。
第４日目の演習用に Excel・Powerpoint がインストールされたパソコンをご用意下さい。

ＩＴベンダ企業向け研修シリーズ

コース名	グループ演習形式　ソフトウェア開発の基本研修
目的	ソフトウェア開発者として、基本として知っておくべき知識と基礎となるスキルを身につけるために必要となる知識を学びます。
対象者	１年目～2 年目、もしくは、新入社員のソフトウェア開発者
研修日数	４日間（1 日６時間）
定員	20 名（最低開催人数６名）
講師	新保　康夫（新保ＩＴ経営研究所　所長、ＩＴコーディネータ）
価格	研修費　180,000 円 教材費　3,000 円／人（3,000 円×受講人数分必要となります。）

カリキュラム

【第１日目】≪ソフトウェア開発の基本≫
- 開発プロセス
- 開発手法
- プロジェクト　≪グループ演習付≫

【第２日目】≪知識体系のいろいろ≫
- プロジェクトマネジメント
- 共通フレーム　≪グループ演習付≫
- その他の知識体系

【第３日目】≪情報セキュリティ≫
- ≪座学≫情報セキュリティマネジメント
- ≪グループ演習≫情報セキュリティ　リスクの発見とリスク対策

【第４日目】≪ソフトウェアアーキテクチャ≫
- ≪座学≫代表的なアーキテクチャとパターン
- ≪グループ演習≫アーキテクチャとパターンを考える

テキスト

【情報セキュリティ】
情報セキュリティ読本　五訂版
（独立行政法人情報処理推進機構）
【その他】
演習教材等は、オリジナル教材を使用

備考

研修会場、プロジェクタ、スクリーンはご用意下さい。
参考資料として以下の書籍があります。
共通フレーム 2013～経営者、業務部門とともに取組む「使える」システムの実現～
（独立行政法人情報処理推進機構）
ソフトウェア工学―理論と実践
（ピアソンエデュケーション）

ＩＴベンダ企業向け研修シリーズ

コース名	グループ演習形式　上流工程の開発手法研修
目的	上流工程を担当する人材として、上流工程の開発で知っておくべき知識とスキルを身につけるために学びます。
対象者	経験が浅い上流工程担当者、もしくは、今後上流工程を担当させたい開発者
研修日数	４日間（１日６時間）
定員	20 名（最低開催人数６名）
講師	新保　康夫（新保ＩＴ経営研究所　所長、ＩＴコーディネータ）
価格	研修費　180,000 円 教材費　2,500 円／人（2,500 円×受講人数分必要となります。）

カリキュラム

【第１日目】≪開発手法とオブジェクト指向分析≫
- ≪座学≫開発手法は複数必要
- ≪グループ演習≫アクティビティ図による業務フロー作成
- ≪グループ演習≫ユースケースによる業務分析（1）

【第２日目】≪オブジェクト指向分析≫
- ≪グループ演習≫ユースケースによる業務分析（2）
- ≪グループ演習≫概念モデルの作成
- ≪座学≫アーキテクチャ設計へ

【第３日目】≪DOA による分析≫
- ≪座学≫DOA とは
- ≪座学≫DFD と ERD
- ≪グループ演習≫データの正規化

【第４日目】≪DOA による分析とまとめ≫
- ≪座学≫DFD と ERD を使った一つのアプローチ法
- ≪グループ演習≫DFD と ERD を使った一つのアプローチ法
- まとめ

テキスト

演習教材等は、オリジナル教材を使用

備考

研修会場、プロジェクタ、スクリーンはご用意下さい。
参考資料として以下の書籍があります。
SE のための DOA 再入門講座
（ソフトリサーチセンター）　※講師の著書
Applying Use Cases: A Practical Guide (2nd Edition)
（Addison-Wesley Professional）